冊子「わたしたちは忘れない~東日本大震災の記録~」

HP を通して知り合った九州のメル友(HP「雑学 BN」の随想等関係(IV)、2006.02.04. 「『めっちゃいい。』とは、簡潔な表現で『めちゃいい!』」:参照)から、今朝メールを受信した。

このメル友は、日頃HP等で「寄り添い」を発信している自分だけに震災後直ぐにてっきり支援行動を起こしたと思われたようで、「被災時の障害児の対応について」のテーマで昨年7月に九州に来て講演の声をかけて貰った。

しかし、自分は実際には被災地に出向いて支援活動に動いていなかったので、震災後直ぐに津波被害甚大な被災地の在宅重症児家族等を回ったり色んな支援に動いた宮城県重症児(者)を守る会・会長に代役をお願いして講演に行っていただいた。

自分のこともちょこっと記載されている宮城県重症児(者)を守る会から発刊された「わたしたちは忘れない~東日本大震災の記録~(ブログ 2012.6.4.:参照)」を事務局にお願いしてに送付いただいた。

今朝受信のメール (抜粋) は、次のような内容であった。

【 冊子を受け取りました。

九州にいると、震災はまるで「番組」のようで、今でもなんだか信じられません。

冊子を、涙ながらに読んでも、まだ、寄り添えていないように思い、自責の念に駆られます。

「忘れないこと。語り継ぐこと。」

この志に沿うために、頂いた冊子を特別支援学校で回覧させて頂こうと思います。 微力ではありますが、大切に、思いをつないでいけたら幸いです。

会長さんのご活躍には頭が下がります。

私も、一歩ずつゆっくりではあっても、着実に歩を進めようと改めて思っています。

有難うございました(^v^) 】

このメールをいただき、自分が直接九州に出向いてお手伝い出来なかったお詫びの気持ちが通じたかなと、ちょっぴり安堵した。

いつも厚かましい自分のわがままにも拘わらず、震災間もない昨年7月でお仕事もお忙しい中を直ぐに代役を快諾下った上に、前もって「この内容でいいかな?」と講演のスライド原稿まで見せて下さった会長に、また、快く冊子を分け下さり送付まで引き受けて下さった事務局に、改めて感謝、感謝、 _(._.)_